

(仮訳)

日米韓共同声明

2017年7月6日

7月6日、ドナルド・トランプ大統領、文在寅（ムン・ジェイン）大統領及び安倍晋三内閣総理大臣は、ドイツのハンブルクにおいて、北朝鮮の核及び弾道ミサイル計画による深刻かつ増大する脅威について議論するために会談を行った。三首脳は、7月4日の北朝鮮による大陸間に及ぶ射程距離を有する弾道ミサイルの前例のない発射を非難した。この発射は、複数の国連安保理決議の直接的な違反であり、北朝鮮による米国、韓国及び日本、そして世界各国に対する増大する脅威を明確に示す、重大な事態のエスカレーションである。三首脳は、北朝鮮の脅威に対抗し、平和的な方法による朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化という三か国の共通の目標を達成するために連携することの重要性を確認した。また、三首脳は、北朝鮮がその方針を変更し、挑発的かつ脅迫的な行動を自制し、非核化に向けた真剣な対話に戻るために必要な措置をとるよう、北朝鮮に対して最大限の圧力をかけるために引き続き協力することを約束した。三首脳は、北朝鮮が正しい方針を選択すれば、国際社会の他の国々と共に、北朝鮮にとってより明るい未来を提供する用意があることを強調した。米国、日本及び韓国は決して核武装した北朝鮮を受け入れない。

トランプ大統領、文大統領、安倍総理は、北朝鮮に対し、不安定化をもたらす、挑発的で、事態をエスカレートさせる行動には深刻な代償を伴うことを示すため、追加的な制裁を含む新たな国連安保理決議の早期採択を強く求めていくことを決定した。三首脳は、国際社会に対し、全ての国連安保理決議を迅速かつ完全に履行するとともに、北朝鮮との経済関係を縮小するための措置をとることを求めた。また、三首脳は、北朝鮮と国境を接する特定の国々に対し、北朝鮮の体制が、現在の脅迫的かつ挑発的な方針を放棄し、非核化及び弾道ミサイル計画の停止に向けた措置を直ちにとるよう説得すべく、更なる努力をすることを求めた。

三首脳は、それぞれの同盟を更に強化し、北朝鮮からのいかなる攻撃も抑止し、対処するための能力を強化し続けることを確保することへのコミットメントを強調した。三首脳は、北朝鮮がもたらす脅威に対して、三国間の安全保障協力を推進し続けることを約束した。トランプ大統領は、あらゆる種類の通常及び核戦力により、韓国及び日本を防衛することへの米国の揺るぎないコミットメントを再確認した。